

【シリーズ】 報告書を読み解く～その試験結果どういう意味～

⑦色泣き(ブリード)試験の判定

異色濃淡製品で洗濯や雨に濡れた後に淡色部分が汚染したり、色が滲んだという経験はありませんか？日常生活において、衣料品が洗濯や雨など水に濡れる機会はたくさんあります。そこで色泣き試験を行い、濃色から淡色へ汚染をしないか確認することで安心な商品が提供できます。色泣き試験では濃色から淡色への色移りをしないか「汚染」を評価、判定します。



- ・水(界面活性剤を微量含む)に、試料の先端2cmを浸漬し、水を吸い上げさせます。
- ・2時間経過したら、水から取り出し、自然乾燥し、淡色部への汚染を判定します。



判定結果

汚染 2級

一般的な目安

汚染 4～5級以上



目安に満たない原因

- ・ソーピング不足（未固着染料の除去不足）



注意が必要な素材

- ・異色濃淡（配色使い）の製品

異色濃淡品は、淡色部に濃色が滲むと目立つから、汗や洗濯堅牢度の試験より基準値が厳しいケン！



HPでは試験方法を紹介。QRコードまたは、下記の文字をクリックして参照ください。
[ボーケンのHPから閲覧する。](#)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京試験センター

所在地 〒135-0001 東京都江東区毛利1-12-1
担当 中尾 mail: s-nakao@boken.or.jp

[X\(イクス\) @boken1948](#)

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！みなさまのフォローお待ちしております！

